

〔編 集 後 記〕

暖かだった今年の秋も深まり、キャンパスの樹々も色づいてきました。『社会科学ジャーナル』第28号(1)の編集作業もようやく終わり、予定どおり皆様のもとにお届けすることができそうです。今回は、「変動する東南アジア」という小特集を組むことができたほか、多彩な分野から論考が集まり充実した号になったと思います。ページ数も大幅に増えました。年2回の発行、という現在のペースは、どうやら再検討する時期にきているようです。一方、昨年より始まった Working Paper Series に加え、所員の執筆になる単行本を年1～2冊 Monograph Series として発行することとなりました。これらの新しいメディアと『社会科学ジャーナル』をどのようにリンクさせ、所員の活動の場を豊かに提供していくか、しばらくは試行錯誤の時期が続きそうです。

(高澤紀恵 記)